

北条っ子 学び通信



令和5年(2023年)3月2日
No.28
豊中市立北条小学校



外国語・外国語活動

2020年の学習指導要領の実施に伴って小学校では中学年から外国語活動を導入し、高学年においては英語を「教科」として教えることとなり、3年が経ちました。

本校では、昨年までの2年間「全員が意欲的に参加できる英語の授業づくり」というテーマで研究を進めてきました。(北条っ子学び通信 No.14、No.18 北条小ホームページ)を参照ください。

2年間の研究では、AET(外国人英語指導助手)との関わり方やアルファベットの未定着、タブレットを活用した授業づくりなどが課題として見えてきたので、こうした課題に拮がった点を工夫して取り入れた授業に取り組んできました。

AETとの関わり方については、事前に英語の歌ややり取りなどを録画や録音して協力してもらったり、さらに、AETに伝えるということを単元の最終目標にしたりして、児童の意欲を継続させながら英語でやり取りをするという言語活動に取り組んだりできました。

また、1人1台のタブレットを有効に活用しながら英語でやり取りするという授業も多く展開することができました。

昨年は、全学年の児童に普段から少しでも英語に触れてもらうために、3年生以上の児童は、階段アートの作成も行いました。英語で発声しながら楽しそうに階段を上がっていく児童の姿も見られます。(右の写真)



☆ ☆ ☆ ☆ ☆

昨年度までは、基本的にはほとんどのクラスで学級担任が外国語の授業を行っていましたが、今年度からは、英語専科として、濱田先生が3年生から6年生までの外国語活動・外国語の授業を担当しています。そこで、濱田先生にインタビューし、各学年の取り組みを紹介してもらいました!

濱田先生にちょこっとインタビュー



子どもの頃から英語が好きだったんですか？

A 私は、最初から英語が好きだったわけでは全くなく、また子供のころから英語に親しんできたわけでもありませんでした。小学校のころ、学校でローマ字を学んだときも、最初は全く理解できなかったし、中学校に入ってからもテストのために丸暗記しただけだったので、成績は下がっていったし…、日本人なら日本語が話せたらそれでいいやん、などと考えてしまう…という情けない出会いでした。

でも、私は負けず嫌いな性格だったため、周りの子よりできないことが悔しいから…と一からやり直しの勉強を始めてみました。英文を作るルールが少しずつ理解できるようになると、もっと知りたくなりました。そこからやっと英語を好きだなあと、おもしろいなあと感じられるようになりました。たまたま、英語を学習することをおもしろいと感じることができたので、高校も英語科へ進むことができましたが、私と英語の関係は何にも特別なものではありませんでした。



これから英語学習を続ける子どもたちに伝えたいことはありますか？

A 英語を学習することの意味は『より多くの人とコミュニケーションをとるため』という、とってもシンプルなものなのだと思います。

第二言語として学習する英語は、自分が生まれた国からもっと大きなところに範囲を広げて、多くの人とつながりたいと思ったときに使う言語です。

だから、英語を学習する態度として、まずは好奇心をたくさん持ってほしいといつも願っています。知らない国の人としゃべってみたい、世界にはどんな人がいて、どんな動物がいて、どんな景色があるのか知りたい、これって英語でなんていうのかな？ などなど、きっかけや関心はどんなことだっていいので、英語に興味を持ってほしいです。

世界は本当に広い！自分と合う人、自分が好きになる人、自分が居心地の良い場所、自分が仕事をするところ、…それは、80億人、197カ国から選択肢があるのです。



好きな言葉はありますか？

A "Yesterday is history, tomorrow is a mystery,
today is a gift, that's why it is called the present."

という Alice Morse Earle さんの言葉です。「昨日は過去であり、明日は謎。そして今日は贈り物。だから、今日をプレゼントというのです。」というような内容です。Present には、贈り物の他に現在という意味があることをこの人の言葉で知りました。なんだか素敵だなあと感じました。過去より未来より、贈り物としてもらった今を大切にすればいいというこの言葉は私に安心と勇気をくれる気がします。

最後に… Mr. Anthony(AET)は北条小学校の子どもたちが大好きなんだそうです。みんな素直で反応がよくて、授業をしていて楽しいのだそうです。私も子どもたちとの授業が楽しいです。いつもそんな素敵な子どもたちに感謝しながら、今日も授業を考えています…。

3年生の外国語活動

「英語って楽しいな！」をテーマに。



3年生は、小学校で初めて英語の授業が入ってくる学年です。外国語活動として週1時間の授業をしています。国語や算数のようにテストをしたり、通知表で評価されたりという教科ではなく、英語に慣れ親しむことが一番の目標です。

外国語活動の時間はいつもとってもにぎやかです！楽しく歌ったり、友だちと会話をしたり、英語をおぼえたりしてくれています。特に、AET（Assistant English Teacher）の Mr. Anthony が来る日は大喜び。いない日は「えー…」と残念がっています。みんな Mr. Anthony が大好きです。どんなことも全力で間違いをおそれず取り組む姿は3年生ならではの姿ですね。



世界旅行に出かけよう！



いろいろな国、人、言葉に出会うことってとっても楽しいんだよ！そんなメッセージを伝えたくて始まった1学期。子どもたちがとっても楽しんでいたのは、いろいろな言語のあいさつを覚え、〇〇に出かけよう！と音楽をかけながら教室を動き回り、音楽が止まったとき近くにいた友だちとその国の言葉であいさつを交わす、という Activity。「次は～…Kenya!」「OK!!」「えー、なんやったっけ？」いろいろな反応をしながら活動していました。

This is for you. ステキなカードをおくろう！

2学期は、数字やアルファベットを、体全体を使いながらおぼえて、自分の好きなものも言えるようになりました。そして最後には Greeting card を作る活動をしました。いろいろな形の名前をおぼえたら、カードを作る材料を集めるため、何度も何度も「〇〇, please.」「Here you are.」「Thank you.」「You are welcome.」という会話をしました。私が1つでも忘れてしまうと、「先生、この言葉は？言わなくていいの？」と子どもたちから言われるほどになっていました。「妹の誕生日カードつくるんだ！」「いどこにクリスマスカード作っていい？」など、誰かのためにいっしょうけんめい作っている姿に心がほっこりしました。

Mystery box で What's this?

3学期は「What's this?」「It's a 〇〇.」をいろいろな活動を通しておぼえています。特にミステリーボックスは大はしゃぎ！当たったら、みんなで拍手喝采！あっという間に「It's a ～.」をおぼえました。クイズ大会も大成功。楽しく活動できました。

この単元がとっても印象に残ったのでしょうか、最後の Unit で取り組んでいる「Who are you?」「I'm a ～.」のやりとりが、どうしても「Who are you?」「It's a 〇〇.」となっちゃう子どもたちです。

3年生は、とにかく英語を全身で楽しんでもらいたいと思っています。この体験が、いつかもっとしゃべってみたいなという意欲につながればいいなという希望を持ちながら、今日もかわいい子どもたちのことを思い浮かべながら楽しく授業準備をしています！

4年生の外国語活動

「もっと話したいな」をテーマに。



4年生も同じく、教科ではなく、「外国語活動」として週1回の授業です。4年生は、やっぱり去年からやっていることもあり、英語に対してとっても意欲的です。どんな活動も“とりあえず挑戦！”という気持ちを持って来ています。そんな4年生がとってもがんばっていた2学期の授業を紹介します！

Let's make a pizza for teachers !

2学期の後半、Unit7 で取り組んだ活動です。北条小学校の先生方にオリジナルピザをつくってあげるという活動を通して、「What do you want?」や「I want ~.」を覚えました。1時間目はこの単元のゴールを伝えました。先生たちにピザをつくることを知った子どもたちはびっくり！「え？本当に作るの？」なんて言う子もいました。ピザを作るには材料が必要だ！ということで、19種類もの具材を英語で覚えます。AET といろんな方法を使って練習しました。

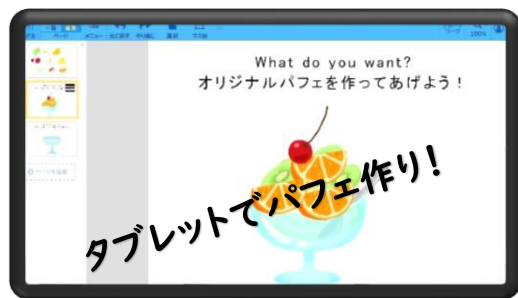
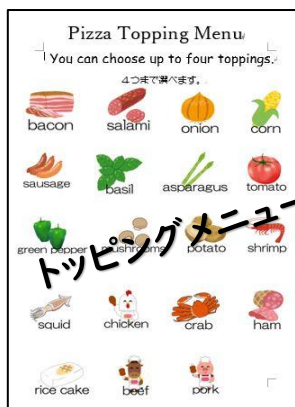
2時間目はタブレットを使ったパフェ作りを通して、材料を集めるための表現を学びました。タブレットの操作にもすぐに慣れた子どもたち。おいしそうなおパフェもあれば、そんなにメロンのらんやろ…とつままれるようなパフェもあり、他の児童がどんなパフェにしたのかも含め、楽しみながら活動できました。

3時間目はいよいよ先生たちの好きな具材を聞きに行く準備です。「May I ask you a question?」など必要な会話表現も学びました。次回の授業までに、聞きに行ってきたね！と伝えると、その日のうちに早速先生方のところへ行くグループがたくさんいました。

4、5時間目は、リクエストされた材料を使ってピザづくりです！しっかりおぼえた「What do you want?」「I want ~.」の表現を使い、画用紙で作られた19種類のトッピングでお店屋さんごっこです。元気で楽しそうな声が飛び交っていました。

半分図工のような外国語活動。完成したピザは大作です。しかもピザボックス付き。ボックスにはオリジナルピザの名前もつけています。渡すときの言葉もバッチリ！次の時間までにお届けに行きましたよ！渡すときのドキドキ感。うまく伝わったときの安心感。ほめてもらえたときの高揚感。先生たちの協力のおかげで、貴重な体験をすることができました。

そして最後の授業では、報告会です。どんなピザを作ったのか、どんなコメントをもらったのかを報告してくれました。



おいしそう!

英語を話すことは難しい。でも伝わると楽しい。もっと知りたい、そんな気持ちを持つよう、子どもたちと3学期も英語を楽しんでいます！

5年生の外国語

「できることを増やそう」をテーマに。



5年生からは、教科として英語の学習を週に2回行っています。楽しいゲームをする活動は減り、英語を使ってコミュニケーションをとれる方法を学ぶ、というところへ学習が進みます。簡単な言葉でのやりとりから、文章でのやりとりになったり、短い言葉や文章を書き写したりと、やることやできることがぐんと増えます。それでもやっぱり英語に慣れ親しむという小学校英語の大きな目標は同じ。英語の歌を歌ったり、クイズをしたりと、少しでもできることが増えて自信がつけられるようになることを願って授業をしています。

1学期に自己紹介が、2学期に他己紹介ができるようになりました。できることや好きなこと、自分の日常などなど、いろんなことを英語で伝えられる学習をしてきました。そんな5年生は3学期、自分たちの国、日本を紹介できるようになります。

まず、前置詞（on in under by）を学び、場所について説明できるようになりました。AETが「Where is your school?」と言えば、「It is in Toyonaka.」と児童は答えます。

でもそこで終わらず、「Where is Toyonaka?」

「It is in Osaka.」「Where is Osaka?」…と続き、

最後は宇宙まで行っちゃいました。基本の英語だけでなく、

話を広げてくれるAETと考えながら、楽しみながら、

会話をしていました。またタブレットを使い、オリジナル

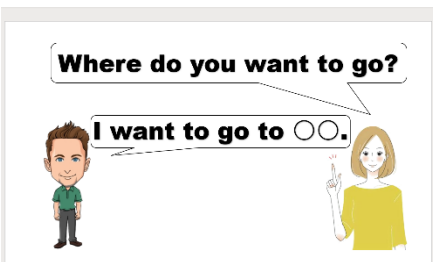
サンドウィッチを友だちに作ってもらおうという活動も取り入れ、

子どもたちはオリジナルすぎるサンドウィッチを作り、

楽しみながら学習していました。



そして今取り組んでいるのは、「I want to ~.」としたいことを伝える学習です。まずは行きたいところから始め、「Where do you want to go?」「I want to go to ~.」とペアを変えながら何度も何度も使い、会話をしておぼえました。また、タブレットを使い画像を見せながら会話することでお互いの理解を深めることもできました。



行きたいところから、したいことを伝える活動に進み、英語の文章の作り方も自然と学んでいます。これらの表現を使ってこの単元の最後には“海外旅行の計画を立てよう”という活動

を用意しました。英語を学習するだけでなく、国際理解にもつながる学習なので、興味を持って世界の国々をリサーチしている姿に感心しました。

最後に予定している『日本の紹介(発表)』では学んできたことを生かしながら、AETに日本の良さを伝えられるといいなと期待しています。



英語が難しいと感じる子どもたちも増えてきました。でもそれは、英語を理解するはじめての一步です。わからない…と下を向かず、わからないから真似をする、わからないけどしゃべってみたい、そんな前向きな気持ちを持てるよう、支えていきたいと思います。

6年生の外国語

「英語でつながる！」をテーマに。



6年生は英語学習 4年目突入！中学校へ向けての準備でもある一年。これだけにはできるようにさせてあげたい！との思いで、例年より英語を書く機会を増やしたりしてきました。そんな中で、6年生の子どもたちの授業で大切にしてきたことは、英語は人とつながるための手段の1つであることを伝えることです。テストのためだけではない、英語力をつけてほしくてできるだけたくさんAETと授業をする機会を作りました。言葉や国は違うけど、いっしょに笑ったり、同じことを感じたり、相手のことを思いやったり…と英語学習だけではないAETとのつながりをつくってきました。

英語のなまり、世界の歴史、文化の違い



AETと授業をする中で、教科書を使った学習はもちろんですが、教科書以外のことも本当にたくさん教えてもらいました。英語にはアメリカ英語とイギリス英語があるということを知り、発音の違いも聞きました。また、大きな行事があるときはその歴史から教えてもらいました。子どもたちが世界共通の文化だと思っていたことも、実は日本だけなんだと知ったりすることもありました。難しい英語で話すこともありましたが、子どもたちの分かってもらう気持ちと、AETの伝えようとする気持ちがつながっていたように私には感じます。AETの話から世界が見える、そんな環境だったと思います。また、1日だけ来てくれたフィリピンのAETとも、すごく自然に授業をすることができていました。世界の人とつながれる機会はますます増えてくるのかもしれないですね。



Theme talk time!



英語の授業の最初にはテーマトークタイムを多くとってきました。「習ったことを忘れないため」と「英語でおしゃべりができること」を目的にしています。こちらからテーマは指定しますが、先日子どもから「今日の朝ご飯は…」とテーマをふってくれました。しゃべってみたい、伝えてみたい、という気持ちが持てるようになることは、英語が上手に話せることよりも大切な力かもしれません。

6年生の子どもたちは最後に自分の将来について英語で話せるようになりました。英語で伝える前に、自分はどんなことに興味があるのか、どんなことができ、どんなことが好きなのか、自分を見つめるところから始まります。ただ英語を話すのではなく、自分の思いや考えを伝える手段として英語を使い、AETに自分のことを聞いてもらいました。英語でのやりとりはまだまだ慣れていませんが、それでも一歩ずつ中学校へ向けて成長している姿を見させてもらうことができました。

6年生の子どもたちとは、英語を2年間もいっしょに学習できました。自分の英語が伝わったときの喜び、世界を知ろうとする好奇心、そして何より誰とでもすぐに仲良くなれる人懐っこさ。そんな素敵な力を持っている学年でした。I hope you like English more. Congratulation on your graduation!